

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/21 (9/14との比較)	9/21 (9/14との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.43% (+0.09)	87.16円 (+1.41%)	+1.9% 2018年2Q	1.50%	小売売上高やCPI（消費者物価指数）は概ね市場予想通りの内容。NAFTA（北米自由貿易協定）に関して協議が継続する中、米国国債利回りの上昇につれて、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	卸売売上高やGDP（国内総生産）などが発表予定。引き続き、NAFTA再交渉について合意に至るかは注目。また、米国の金融政策や各国の通商問題に関する動向からも目が離せない状況。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	10.44% (▲0.38)	27.79円 (+3.53%)	+1.0% 2018年2Q	6.50%	市場予想通り中銀は政策金利を据え置いても、先行きの利上げの可能性を示唆。10月の大統領選挙では第1回投票では当選者が決まらず、決選投票にもつれ込むとの見方も台頭。レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	経常収支などが発表予定。引き続き、大統領選挙をめぐる各候補者の動きが注目されるものの、先行き不透明感が強く残っていることから、債券・為替市場はともに上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.97% (+0.02)	5.98円 (+0.77%)	+2.6% 2018年2Q	7.75%	小売売上高は市場予想を上回る内容。NAFTAについては米国がカナダ抜きでメキシコとの貿易協定で合意するとの見方も台頭。メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	貿易収支や失業率などが発表予定。引き続き、NAFTA再交渉においては米国とカナダの協議の行方に注目。米国の金融政策動向などからも目が離せない状況で、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/21 （9/14との比較）	9/21 （9/14との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.70% （+0.10）	82.02円 （+2.33%）	+3.4% 2018年2Q	1.50%	大手格付機関は国債格付けを維持する中、財政見通しの改善を背景に見通しを引き上げ。中国の李克強首相が景気支援に言及したことから、景気刺激策への期待が強まる中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	民間部門信用などが発表予定。米国の金融政策や各国の通商問題に関する動向や、鉄鉱石市況などからも目が離せない状況で、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.67% （+0.11）	75.26円 （+1.42%）	+2.8% 2018年2Q	1.75%	経常収支が赤字となる一方で、GDPは市場予想を上回る内容。一部にあった利下げ観測が後退する中、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	貿易収支や企業景況感、消費者信頼感などが発表予定。中銀は政策金利を据え置くと予想される中、声明文に注目。米国の金融政策動向にも注目が集まる中、ニュージーランドドルは対円で底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.93% （+0.01）	13.81円 （+1.78%）	+3.3% 2018年2Q	0.75%	貿易収支では黒字が前回比で拡大。市場予想通り、中銀は政策金利を7年ぶりに引き上げ。投資家のリスク許容度が回復する中、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	小売売上高や失業率などが発表予定。中銀の声明では、政策金利をさらに引き上げる可能性が高いとの見通しが示されたことから、ノルウェークローネは対円で底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/21 （9/14との比較）	9/21 （9/14との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.52% （▲0.07）	7.87円 （+4.86%）	+0.4% 2018年2Q	6.50%	CPIは市場予想を下回る内容。中銀は市場予想通り政策金利を据え置いたものの、総裁はインフレ見通しへのリスクに言及し、タカ派的な姿勢を表明。ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	PPI（生産者物価指数）や貿易収支などが発表予定。新興国全般に対するセンチメントに改善が見られたものの、世界的な通商問題への先行き警戒感もあり、債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	8.09% （▲0.24）	0.76円 （+0.16%）	+5.3% 2018年2Q	5.50%	貿易収支は市場予想を大きく上回る赤字額を計上。中銀の副総裁は、通貨ルピアの安定を維持するため市場に慎重に介入すると言及。ルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	自動二輪車販売などが発表予定。市場では、中銀が通貨支援姿勢をとり政策金利の引き上げを実施すると予想。米国の金融政策や各国の通商問題などの動向なども注目される中、ルピアは対円で底堅く推移すると予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	8.12% （▲0.08）	1.56円 （▲0.01%）	+8.2% 2018年2Q	6.50%	政府は不良債権問題へ対応し、国営銀行3行を統合する計画を発表。また、中銀へ石油会社に対する米ドルの直接売却要請など、通貨支援策を検討しているとの見方が台頭。インドルピーは対円で小幅下落。国債利回りは低下。	特段重要な経済指標等の発表はなし。インドは原油の輸入に大きく依存するため、引き続き原油の動きには注意が必要。為替市場は上値の重い展開を想定するが、通貨支援策の動きにも注目。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

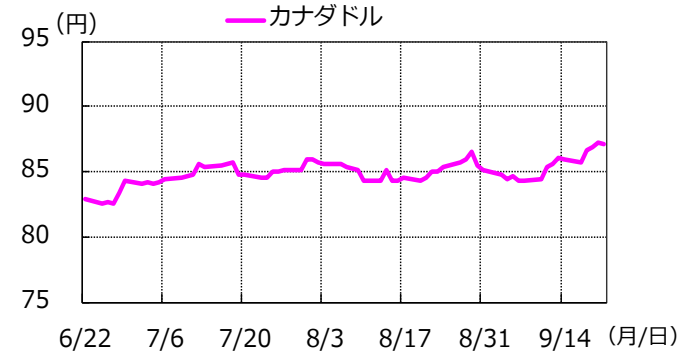
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

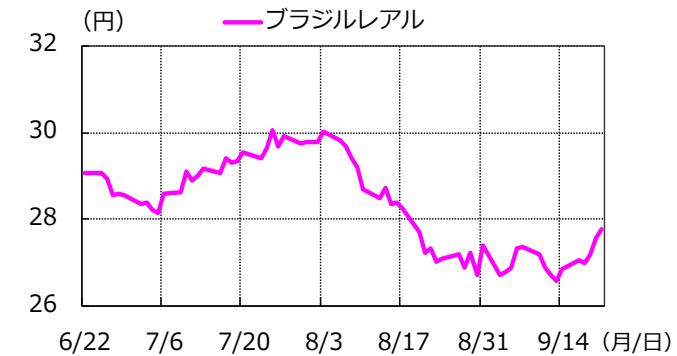
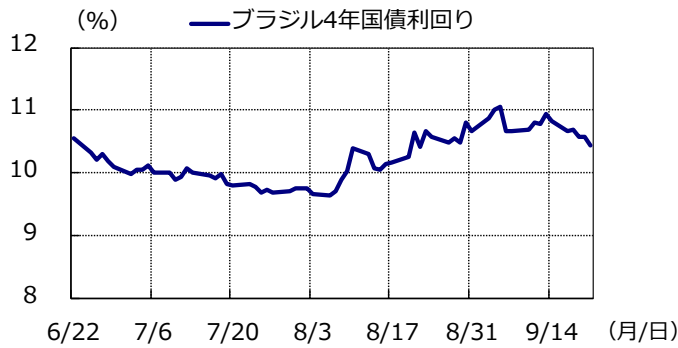
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/6/22～2018/9/21

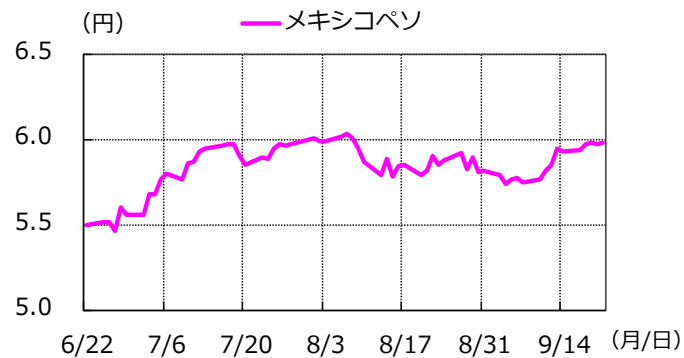
カナダ



ブラジル



メキシコ

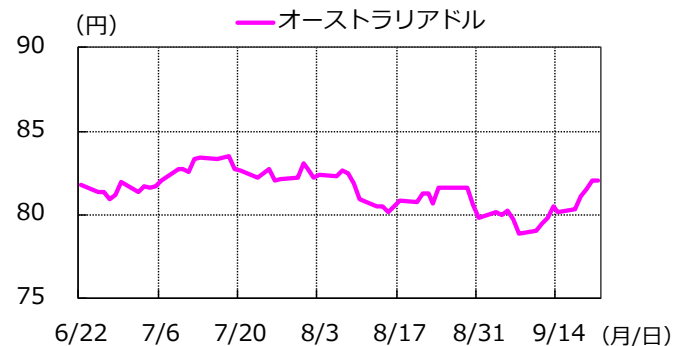


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

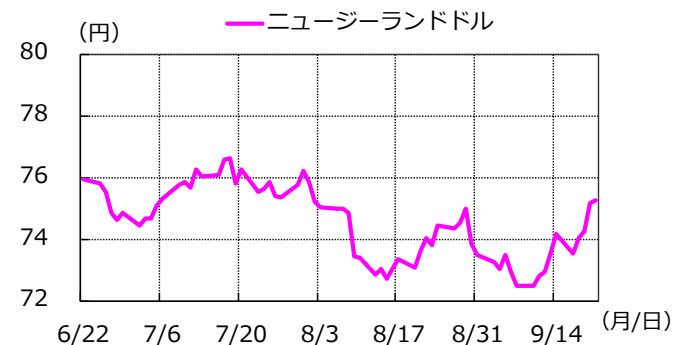
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/6/22～2018/9/21

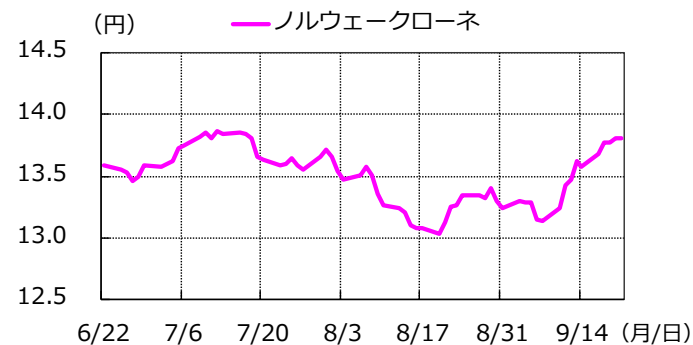
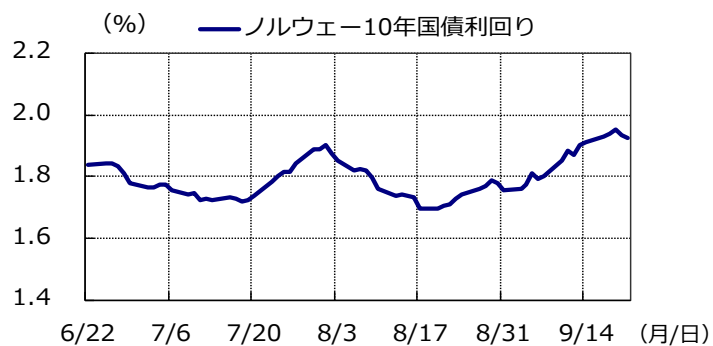
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

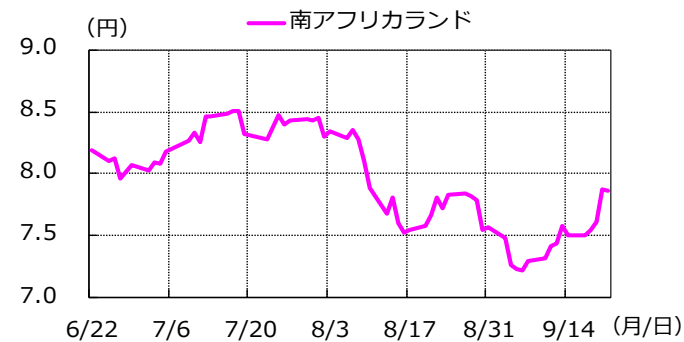


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

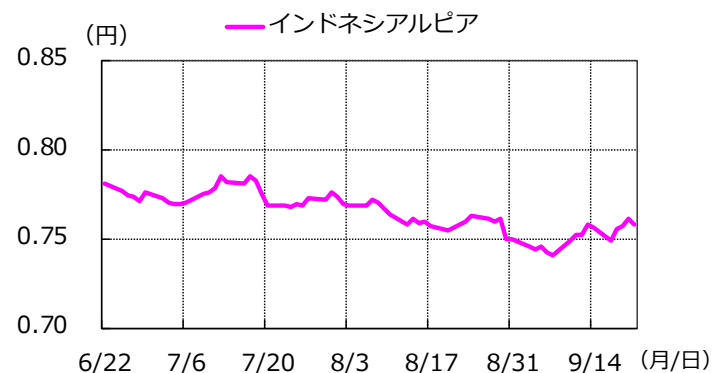
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/6/22～2018/9/21

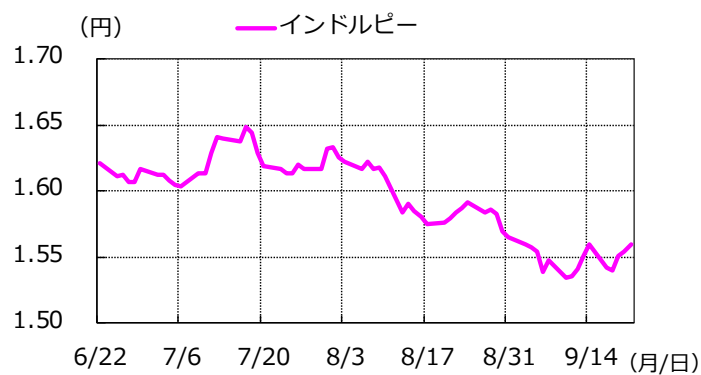
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。